

ボラ♥ほっと

第51号

発行：北名古屋市社会福祉協議会ボランティアセンター（TEL：0568-25-8500） 編集：北名古屋市ボランティア連絡協議会



『ふれあいフェスタ2018』でたくさんの【笑顔】をいただきました。

※ボラ・ほっとは、皆さまから寄せられた共同募金の配分金の一部で作成しています。

……みんなで考えよう我が家の防災……

非常持ち出し品の点検をしよう！



ここ数年、特に昨年各地で起こった想定以上の自然災害、地震のニュースを見るたびに、もしもではなく「必ず近い将来わが身にも」と、不安を募らせた方も多いと思います。

2000年の「東海豪雨」では北名古屋市も大きな被害を受けました。「いつか、来る」日のために非常持ち出し品の点検をお勧めします。家族構成とか、年代層によって持っていくものが違うと思います。まだ非常持ち出し品を準備していない方は、下記リストの□に✓を記入して準備してみてくださいはいかがですか。

◎非常持ち出し品リスト

① 貴重品

- ☐ 現金（小銭を含む）
- ☐ 印鑑・通帳
- ☐ 健康保険証（コピー）
- ☐ めがね・コンタクトレンズ

④ 便利品など

- ☐ ヘルメット
- ☐ 懐中電灯
- ☐ カッター・はさみ
- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ ビニール袋
- ☐ 軍手
- ☐ ライター
- ☐ 乾電池
- ☐ ガムテープ
- ☐ 雨具

⑥ 自分で必要と思う物

- ☐
- ☐
- ☐
- ☐
- ☐

② 救急・衛生品

- ☐ 救急用品
- ☐ お薬手帳
- ☐ くすり（常備薬）
- ☐ マスク
- ☐ タオル
- ☐ ウエットティッシュ
- ☐ ティッシュペーパー

⑤ 情報収集用品

- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ 携帯電話・スマートフォン（充電器もあるとよい）
- ☐ 筆記用具

③ 食料品など

- ☐ 飲料水 ※
- ☐ 非常食・乾パン ※
- ☐ 紙コップ・皿
- ☐ ラップ・アルミホイル
- ☐ スプーン・フォーク
- ☐ 缶切り
- ※ 有効期限の確認

今すぐ！地震災害への備えを実行しよう！！

北なごや防災ボランティアからのメッセージ

私達は断水時のトイレの使い方や、色々な防災ゲームを通じて、子供から大人まで防災を楽しく学ぶ活動をしています。

日頃から、助け合える人と人との関係を築くことは大切です。あなたも防災ボランティア活動に参加しませんか。お待ちしております。

北名古屋おもちゃ病院

皆様から眠っているおもちゃをご提供いただき、ふれあいフェスタ「おもちゃリユース広場」を開くことが出来ました。当日は大盛況で皆様に喜んでいただきました。おもちゃをご提供いただいた方々にお礼申し上げます。これからも続けていきたいと思っていますので、ご協力をお願いします。【坂野 勝次】

◆◆◆◆電池のおはなし◆◆◆◆ 電池の液漏れを発生させないためには！

- ① 電池の向きは正しく装着しよう！
- ② 電池の種類（アルカリ電池とマンガン電池、充電電池など）を一緒に使用しない！
- ③ 新しい電池と古い電池を一緒に使用しない！
- ④ 使い切った電池は放置しない！
- ⑤ リモコン、時計などの電池は無くなる前に、定期的に新品と交換しよう！

もし液漏れをしてしまった場合には、電池を取り出して処分をして、機器（おもちゃ）についた液体は綿棒などでよくふき取って下さい。

機器を長時間放置すると液漏れする可能性がありますので、定期的に電池の状態を確認するようにしましょう。



蕎麦打ち倶楽部

毎月第1と第3火曜日に蕎麦打ちの研修を行っています。その他に「そば打ち体験教室」と、年に各2回は「五条の里」「あいせの里」に施設訪問をしています。

立冬の晴れた日に、五条の里を施設訪問しました。スタッフ3名が蕎麦打ちのパフォーマンスを披露し、蕎麦の仕上がりも上々で利用者さんから絶賛の言葉と拍手を頂きました。

【佐藤 栄里子】

11/7 (水)



手話サークル連絡会

愛知県聴覚障害者協会の西尾張ブロックと、愛知県手話通訳問題研究会の西尾張班が合同で学習会を企画しました。

西春日井の聴覚障害者協会と手話サークル連絡会・手話通訳者連絡会の協力で74名の方々に参加していただきました。

講師の先生方は、北なごや防災ボランティアの皆さまです。参加者の中には聴こえない方も多くみえました。災害発生を想定し、心配事などをグループで話し合ったり、災害用簡易トイレの作り方、非常持ち出し品のチェック、風呂敷の活用方法を体験しながら、防災を考える機会となり大変好評でした。【林 律子】

9/23 (日)



健康ドーム2階ミーティング室にて

西春点訳クラブ



10/28 (日)

にしはるひまわり作業所まつりで、模擬店の「みたらし」を担当しました。来場者は親子連れも多く賑わっていました。【森川 妙子】

◆◆追◆◆記◆◆

昨年は各地で台風や水害の被害がありました。ボランティア連絡協議会は、研修会などでお世話になった岐阜県に義援金（65,971円）を送らせていただきました。全国の被災された方々の早い復興をお祈りします。【ボランティア一同】

とどけよう！つなげよう！ボランティアの心とちから

昨年11月23日（金・祝）『ふれあいフェスタ2018』＜復興への道 私たちも共に歩きつづけます＞が市健康ドームで開催されました。

毎年各コーナーでは趣向を凝らし、来場者に体験していただいて日頃の成果を披露していました。今回もボランティア連絡協議会は東北支援のコーナーを設けました。模擬店では「北小ボランティアクラブ」にフランクフルトを担当していただきました。模擬店の売上げの一部を、東北復興への支援として寄付させていただきました。

笑顔いっぱい・元気いっぱい・楽しさいっぱいを来場者の皆さまに届けられたと思います。

ご来場 ありがとうございます。



1階 スタンスラリー



2階 要約筆記体験



2階 車いす体験



模擬店 フランクフルト



2階 点字体験



2階 手話体験



模擬店 フライドポテト



模擬店 きたなごうどん



模擬店 豚汁



模擬店 みたらし